

平成29年度 交通サービス利便向上促進事業

(函館市L R T整備計画・平成29年度実施計画)

函館市企業局

1. 輸送および経営計画

年度	29年度（計画）	29年度（予算）	備考
一日平均走行キロ（km）	2,735	2,835	
一日平均乗客数（人）	15,510	15,144	
車両数（両）	32	32	

単位：百万円(税込)

収入		1,250	1,524	
經常収入		1,250	1,524	
料金収入		886	1,004	
他会計補助金		212	244	
その他収入		152	276	
特別利益				
支出		1,271	1,593	
經常費用		1,271	1,593	
職員給与費		505	627	
退職金		26	48	
修繕費		225	208	
動力・燃料費		50	61	
減価償却費		188	328	
支払利息		28	14	
その他費用		249	307	
特別損失				
差引		△ 21	△ 69	
資本的収入		209	394	
うち一般会計補助金		56	61	
資本的支出		355	550	
うち企業債償還元金		111	148	
資本収支差		△126	△ 156	
累積資金過(△)不足額		592	286	

2. 事業の実施計画

平成29年度 交通サービス利便向上促進事業					
事業名	数量	事業費		完成年月日	概要
停留施設の整備 横断歩道との段差解消のための スロープを設置 (函館アリーナ前, 湯の川温泉)	4箇所	予算額: 1,080,000 円(税込)		平成29年11月30日 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> 当該停留場は、北海道新幹線開業により外国人を始めとする来訪者の利用が多く、大型のキャリーバッグ所持者が急増している。 そのため、ホームと横断歩道との段差を解消することで利用者の安全および利便性の向上を図るものである。
		内訳	国補助金		
		市補助金	270,000		
		企業債	400,000		
		自己資金	50,000		
		計	1,080,000		

現況
(函館アリーナ前)

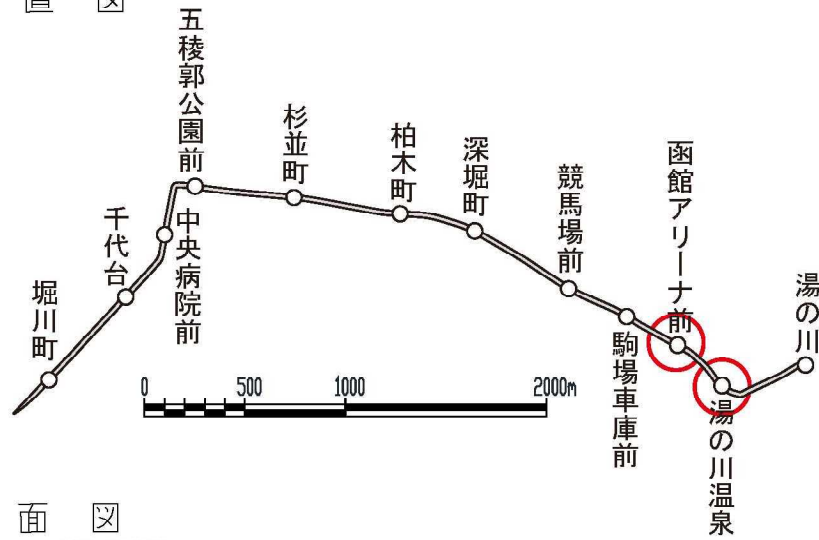


現況
(湯の川温泉)



函館アリーナ前他安全地帯改良工事

位置図



工事内容

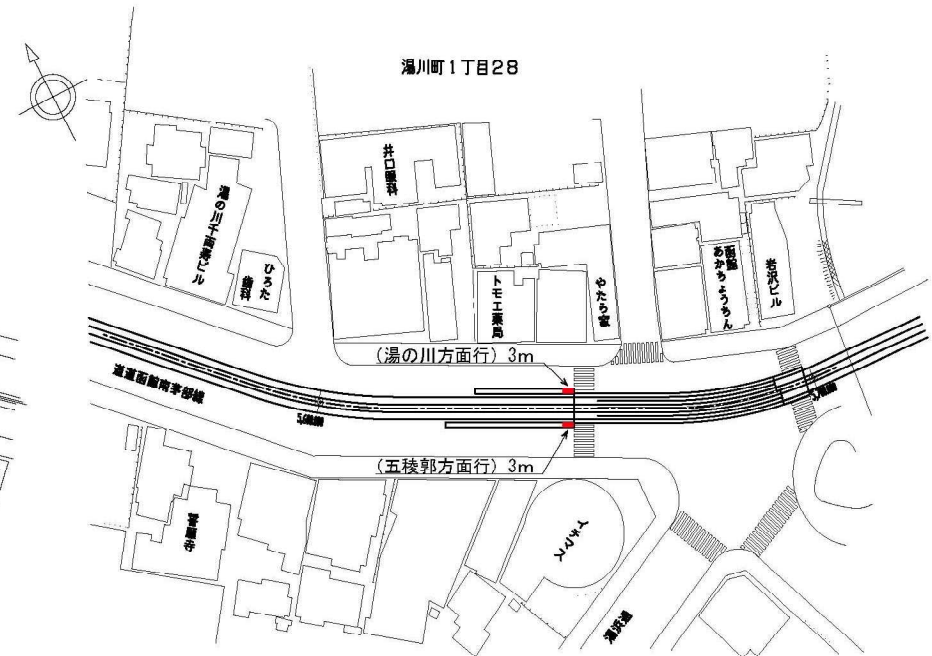
横断歩道より安全地帯に上がる際、段差になっていることから、現在の停留所にスロープを設置することで、利用者の安全および利便性の向上を図りたい。

安全地帯スロープ設置（函館アリーナ前）往線・復線 各 3m
 （湯の川温泉） 往線・復線 各 3m

同箇所前回施工年度

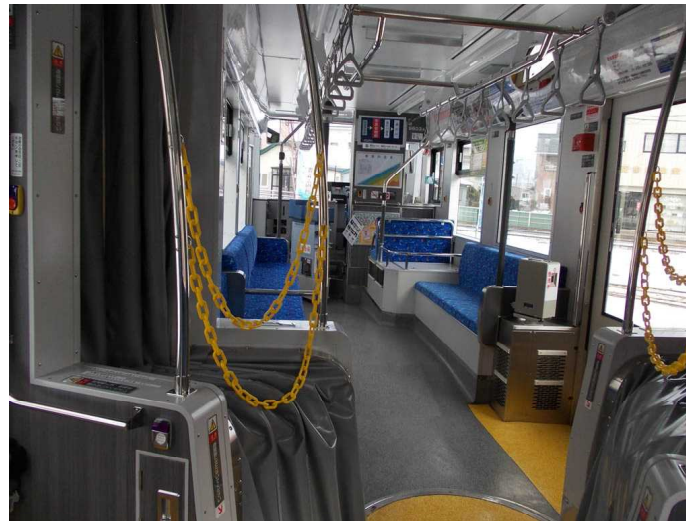
函館アリーナ前 昭和58年度（施工後30年経過）
 湯の川温泉 平成6年度（施工後22年経過）

平面図



平成29年度 交通サービス利便向上促進事業

事業名	数量	事業費		完成年月日	概要
低床式車両の導入 (全低床式車両新造)	1両	予算額：242,223,000円(税込)		平成30年 3月10日 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度, 21年度および25年度に低床式車両をそれぞれ1両ずつ新造した。 乗降時のスピードアップが図られ, かつ高齢者, 障がい者, ベビーカー利用者などより多くの利用者に好評である 路面電車は快適で魅力的な乗り物というイメージアップが図られる。
		内訳	国補助金 市補助金 企業債 自己資金 計		



車種：全鋼製超低床式電動客車
2車体連接
定員：62名(座席31名+立席31名)
最大寸法：13,250*2,340*3,700mm
自重：20.00 t